

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日：2011年 10月 6日

所属： 教育文化 学部／研究 国際言語文化 学科・課程・選修／専攻 1年

氏名：高橋 春菜

派遣先大学名(国) ビクトリア大学(カナダ)

在籍身分：短期留学

派遣期間：1か月

渡航年月日：2011年9月4日

帰国年月日：2011年10月2日

○派遣先大学における授業等の履修状況

月～木・①9：00～10：20 ②10：40～12：00 ③13：15～15：10

金・activity

○研究・学習概要及び今後の勉強計画

主に午前中は教科書を使って英語を使った英語の文法や、ボキャブラリーなどリーディングを勉強しながら、教科書の内容についてのディスカッションや対話などをしてスピーキングに重点をおいた授業を行っていました。

午後の授業はテレビやラジオ、映画などを使ったアクティビティを中心としながらスピーキングに重点をおいた授業を行っていました。

今回このプログラムに参加して感じたのは、自分のボキャブラリーの少なさです。クラスメイトと会話をしていたり、授業でディスカッションをしたりすると単語がわからないがゆえに自分の意見が言えなかったり、周りの話を理解できなかったりして結構苦労しました。リスニングとスピーキングは1ヵ月間の間に慣れてきてあたりはあまり苦ではなかったのですが、ボキャブラリーは慣れでは増えないので自分でしっかり勉強する必要があると感じました。ですから、今後は自分のボキャブラリーをもっともっと増やしていきたいとおもいます。

○生活面について

クラスメイトの中にはイスラム教徒の人もいて、宗教的に食べられない物もあつたりしたため友達同士でご飯を食べに行ったりするときは多少注意していました。

○その他留学全般にわたる感想

わたしはこのプログラムに参加して、日本人以外の様々な国の人たちと知りあって

友達になることができました。それによって、国ごとの価値観の違いや、同じ英語を話しているのにこんなにも国によってイントネーションが違うのかという今まで考えてこなかった違いを知ることができました。

さらに、私が個人的にカナダで知りたかったのは「カナダではアイスホッケーがどのように扱われているのか」です。私はアイスホッケー部に所属しています。ですから、日本ではとってマイナーなアイスホッケーはカナダではどのように扱われているのかにとっても興味がありました。

実際、カナダではアイスホッケーは国技で、たくさんのプロ・アマチームがあり、新聞のスポーツ面には大きく記事が取り上げられ、町のスポーツ用品店には一番大きくアイスホッケーのブースが設けられていたりしてホッケーをやっている私にとっては驚きと感動の連続でした！

今回初めてカナダに訪れましたが、今までほとんど知らなかったカナダ知れたということは私にとってとても良い経験になりました。そしてそれとともに、さらにほかの国はどうなのだろうという興味がわいてきました。英語力の向上を目的として参加したこのプログラムで、自分が思っていたこと以上の経験をすることができました。このプログラムに参加するにあたってご協力くださった方々に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



・ With class mates at park!!

(様式 2)



• with class mates at restaurant!!